

報道関係 各位



## 令和8年度当初予算（案）について

### 1 編成方針

本市においては、令和8年11月に昭和41年の市制施行から60周年の節目を迎える。この市制60周年を機に、更なる飛躍発展を目指し、魅力ある「選ばれるまち」として市民の暮らしの質を高める取り組みを推進していくことが求められている。

しかし、少子高齢化の進展等による社会保障関係費の増加をはじめ、人件費の上昇や物価高騰の影響による経常的経費の増加、公共施設等の老朽化対策、また公債費の高止まりが続く本市の財政状況は未だ予断を許さない。こうした状況の中、「第3期高石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく施策を計画的かつ着実に実行し、併せて、これまで以上の創意工夫により「稼ぐ力」を強化し、市民の期待に応えていかなければならない。

そのため、財政の健全性を維持しながら将来への挑戦的な投資も組み込んだ、バランスの取れた積極財政に取り組むとともに、将来の担い手に縦糸を紡ぎ、高石市が持続可能なまちとして成長・発展するための予算編成とした。

### 2 予算規模

一般会計 311億6,367万6千円

(前年度当初予算比 108.2%、23億6,599万8千円の増)

特別会計 133億2,303万4千円

(前年度当初予算比 101.3%、1億6,577万1千円の増)

会 計 名	令和8年度 当初予算額	前年度 当初予算額	比 較	
			増減額	増減率
一般会計	千円 31,163,676	千円 28,797,678	千円 2,365,998	% 8.2
特別会計	13,323,034	13,157,263	165,771	1.3
国民健康保険	5,948,076	6,124,249	△176,173	△2.9
墓地事業	7,965	7,803	162	2.1
介護保険	6,089,357	5,896,611	192,746	3.3
後期高齢者医療保険	1,277,636	1,128,600	149,036	13.2
下水道事業会計	3,835,676	4,386,523	△550,847	△12.6
合 計	48,322,386	46,341,464	1,980,922	4.3

### 3 歳入（一般会計）

#### 主な歳入概要

（単位：千円、％）

主な歳入科目	令和8年度 当初予算額	前年度 当初予算額	増減額	増減率
<b>(1)市税</b>	10,905,746	10,543,746	362,000	3.4
個人市民税	3,606,000	3,496,000	110,000	3.1
法人市民税	429,000	437,000	△ 8,000	△ 1.8
固定資産税	5,446,746	5,193,746	253,000	4.9
都市計画税	956,000	944,000	12,000	1.3
<b>(2)地方交付税</b>	3,235,000	3,115,000	120,000	3.9
普通交付税	3,085,000	2,965,000	120,000	4.0
<b>(3)国庫支出金</b>	6,918,448	6,027,337	891,111	14.8
<b>(4)府支出金</b>	3,702,148	3,289,732	412,416	12.5
<b>(5)寄附金</b>	300,000	207,912	92,088	44.3
ふるさと寄附金	225,000	150,000	75,000	50.0
<b>(6)市債</b>	1,740,920	1,513,600	227,320	15.0
総務債	257,100	6,200	250,900	4,046.8
民生債	54,400	0	54,400	－
衛生債	206,100	116,100	90,000	77.5
土木債	686,800	544,700	142,100	26.1
消防債	41,800	682,900	△ 641,100	△ 93.9
教育債	295,300	163,700	131,600	80.4
借換債	199,420	0	199,420	－

(1) 市税においては、賃金上昇率等を考慮した決算見込み・成長見込み等により増を見込んでいる。

(2) 地方交付税においては、国の令和8年度地方財政対策の増減率等を勘案し、増を見込んでいる。

(3) (4) 国庫支出金・府支出金においては、扶助費の増加等により増を見込んでいる。

(5) 寄附金においては、ふるさと寄附金の増を見込んでいる。

(6) 市債においては、投資的事業に伴う増減のほか、借換債により増を見込んでいる。

## 4 歳 出（一般会計）

### 主な事業概要（新規）

※画像はイメージです

#### （1）市制60周年記念事業

担当課 総合政策部 企画課（他関係各課） 072-275-6034

28,798 千円



本市の更なる飛躍発展を目指し、市民と歴史や文化を共有することで地域への愛着や誇りを深めるとともに、世代を超えた交流の機会を創出し、地域全体の繋がりの強化を図る。

#### （2）補聴器購入助成金事業

担当課 保健福祉部 高齢・障がい福祉課 072-275-6294

1,000 千円



難聴高齢者等の社会参加や地域交流の促進を図り、会話の減少や孤立を防ぐことで、認知症予防やフレイル予防の効果を高めるため、補聴器の購入費用を助成する。

#### （3）空き家対策等補助事業

担当課 土木部 都市計画課 072-275-6479

22,000 千円



子育て世帯や若者世帯の定住促進を図るため、空き家住宅を購入した場合の支援金の支給や空き家の相続登記費用の補助等を実施し、空き家の利活用を推進する。

#### (4) 高石駅周辺整備事業

担当課 土木部 駅周辺整備課 072-275-6410

19,232 千円

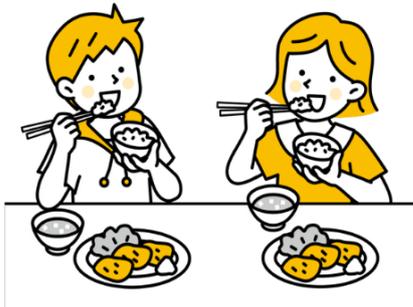


鉄道高架下空間を含めた高石駅周辺エリアにおいて、回遊性を備えた滞在快適性の向上を図ることで駅周辺を活性化させ、居心地の良いウォーカブルなまちづくりを推進する。

#### (5) 学校給食における有機栽培米等導入事業

担当課 教育部 教育総務課 072-275-6428

4,285 千円



小中学校の給食において、無農薬・減農薬の玄米を調達し、独自の精米加工技術により栄養価の高い米飯を提供し、児童・生徒の健康を増進する。

#### (6) 小中学校給水スタンド設置事業

担当課 教育部 教育総務課 072-275-6428

9,000 千円



大阪・関西万博会場で使用されたマイボトル対応給水スタンドを全小中学校に設置し、熱中症対策の強化とともに環境教育に取り組む。(三宅みらい教育基金を活用)

### (7) こどもの居場所づくり事業

担当課 教育部 こども家庭課 072-275-6349

9,924 千円

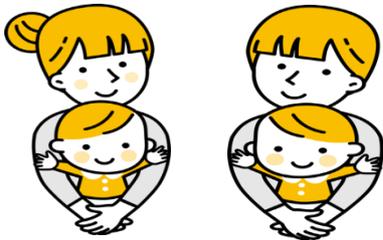


こどもが安心して過ごせる居場所を創出するため、市内のネットワークを形成するコーディネーターを配置し、周知広報や立ち上げ支援等、利用しやすい仕組みを構築する。

### (8) 小規模保育事業所設置事業

担当課 教育部 子育て支援課 072-275-6359

120,036 千円

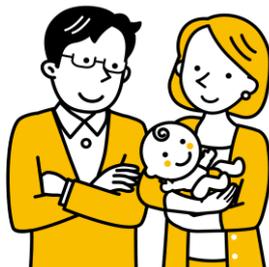


待機児童の解消を図るため、新たな保育の受け皿として、市内2か所目の小規模保育事業所を令和9年度からの開所に向けて整備し、子育て支援の拡充を推進する。

### (9) 取石子育て支援センター設置事業

担当課 教育部 子育て支援課 072-275-6359

26,144 千円



子育ての相談場所や遊び場、親と子が交流を深める場として、これまで取石地区にはなかった子育て支援センターを新たに設置する。

### (10) 紙おむつ無償化事業

担当課 教育部 子育て支援課 072-275-6359

12,312 千円



保護者の登園時の負担軽減を図るため、市内全園において全額公費負担により紙おむつ等を無償化し、子育て世帯を応援する。

## 主な事業概要（継続）

※画像はイメージです

（ ）内は前年度当初予算額

### （1）物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業

252,612 千円

担当課 総合政策部 企画課（他関係各課）072-275-6034

（R7補正額 268,893 千円）



物価高騰の影響を受けている市民や事業者を支援するため、全市民を対象とした地域内で使える商品券の配付や、医療・介護・障がい福祉サービス施設等へ支援金を支給する。

### （2）フレイル予防事業

21,985 千円

担当課 保健福祉部 介護保険課 072-275-6319

（15,407 千円）



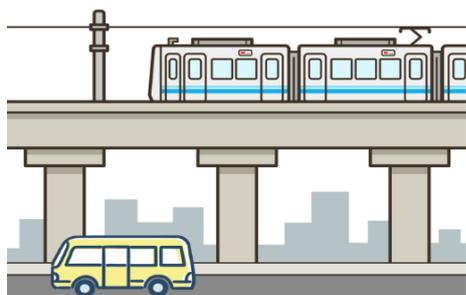
現在の高齢者がさらに年齢を重ねることで要介護認定者が増加する傾向に歯止めをかけて、高齢者がずっと好きなことを続けられるように、コミュニティカフェや老人福祉センターなどの集いの場を活用し、フレイル予防の取り組みを継続的に実践できる仕組みを構築する。

### （3）南海本線・高師浜線連続立体交差事業

1,110,221 千円

担当課 土木部 事業課 072-275-6412

（1,181,695 千円）



大阪府が主体となり推進している鉄道高架化事業であり、令和3年5月に南海本線、令和6年4月に高師浜線が完了し、高架化による運行が再開された。引き続き関連側道整備事業を推進する。

【令和9年度債務負担行為：81,375千円】

#### (4) 南海中央線整備事業

424,051 千円

担当課 土木部 事業課 072-275-6412

(431,905 千円)



南海本線・高師浜線連続立体交差事業とあわせて道路ネットワークづくりを推進し、歩行者・自転車等の安全対策の向上を図るとともに、無電柱化による災害時の通行路の確保に向けた事業を推進する。

【令和9年度債務負担行為：375,403千円】

#### (5) 羽衣駅周辺整備事業

444,563 千円

担当課 土木部 駅周辺整備課 072-275-6410

(85,175 千円)



羽衣駅周辺整備基本計画に基づき羽衣駅前広場及び周辺道路を整備し、交通結節点の機能強化を図るとともに羽衣駅周辺の利便性の向上や賑わいづくりを促進する。

【令和9～11年度債務負担行為：950,000千円】

#### (6) 校内教育支援事業

28,275 千円

担当課 教育部 学校教育課 072-275-6434

(20,927 千円)



不登校等児童生徒への支援の核となる居場所として、これまで校内教育支援ルームを小学校全7校、中学校1校に設置していたものを小中学校全10校に拡充して設置し、社会的自立に向けた支援を実施する。

問合先	財政課 tel : 072 - 275 - 6084 (直通) e-mail : zaisei@city.takaishi.lg.jp
-----	--

